

よいことの
ために
手を取りあおう



Weekly Bulletin

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

静岡ロータリークラブ ●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／児玉 俊明 ●副会長／坂上 康 ●幹事／川崎 裕司 ●副幹事／山本 芳司・瀧上恵美子

2025-2026

1月26日



第3762回例会

ゲスト卓話「スポーツで、日本一ワクワクする街へ～
SHIZUOKA2030 ベルテックス静岡のビジョン」



●ロータリーソング●



副ソングリーダー
鈴木 礁君

●ゲスト紹介●

株式会社 VELTEX スポーツエンタープライズ
代表取締役社長 松永 康太さん
執行役員コーポレート&セールスグループ
志村 優太さん

●会長挨拶●

会長 児玉 俊明 君

皆様こんにちは。知っている人は多いのですが、私はカラオケ大好き人間です。そこで今日は私と音楽について話したいと思います。私もやはり小学校の時オルガンを習いに行きました。しかし、小学3年からすべての余暇を乗馬に捧げたのでオルガンは続きませんでした。私の姉はエリザベート音楽大学のパイプオルガンの専攻で、今もカナダの教会等で演奏をしています。が、「小さい頃は弟（私のこと）の方がうまかった」

た」と言っておりましたので、もし続けていたら音楽家だったかもしれません。次の音楽の出会いは高校の時です。柔道部の先輩が部室にギターを持ち込み弾いていたので教わりました。そのころ弾いていたのが、今日バックグラウンドミュージックで流れている岡林信康です。カナダに行く前に西宮で英語の勉強をしていた時、ジャスコのバイトで知り合った仲間と「笹船」というグループを作り西宮の「ピッコロシアター」でライブをしたりしました。その頃は「赤い鳥」や「五つの赤い風船」をやっていました。カナダに勿論ギターは持って行って、「シクラメンのかほり」とか弾いていました。J Cの時にもJ Cバンドに入り昭和30年生まれの星野、伴、私の3人で「フォーク&スプーンズ30ズ」を結成し、吉田拓郎や「かぐや姫」を弾いていました。しかし、私があまりにも練習に参加しなくてクビになったとき、代わりに参加して、バンドのピンチを救ってくれたのが谷本宏太郎君です。宏太郎君ありがとう。最近是一家で「コンドルは飛んで行く」をやりたいと言った時、子供たちが新しいマーチングを「すみやグッディ」で買ってきてくれました。現在練習中です。以上、児玉ズミュージックストーリーでした。



●幹事報告●

国際ロータリー2620地区
2026-2027年度委嘱状授与
ローターアクト委員会委員
宮部 理香君



●おめでとう●

【誕生祝い】

●月●●日 山本 敬一君

●月●●日 鈴木 善也君

【結婚記念日】

●月●●日 金澤 淳君・紅美子さん

●月●●日 藤田 博久君・聡子さん

●スマイル●

佐藤 智宣君

誕生日のプレゼントありがとうございます。

●●歳になりました！！ まだまだ若輩者ですが、みなさまからのアドバイスの程、引き続きどうぞ宜しくお願いします！

杉本 忠重君

遅くなりましたが、誕生日のお祝い、ありがとうございました。

山本 敬一君

お誕生日のお祝いありがとうございました。ロータリー内では「裏社会」と言われていますが、いたって「真面目」で「無口」です。バッタ情報に左右されず、今後も私の「実直で誠実、そして紳士のふるまい」をご堪能いただけます様にお願いします。スマイルの金利手数料はやはりジャパネット負担でしょうか？

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
1/26	106名	70名	36名	66.04%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

●中間決算報告●

藤田 佳久君より報告



●ゲスト卓話●

株式会社 VELTEX スポーツエンタープライズ
代表取締役社長 松永 康太さん

「スポーツで、日本一ワクワクする街へ～
SHIZUOKA 2030 ベルテックス静岡の
ビジョン」

ベルテックス静岡は（男子プロバスケットの
Bリーグで）過去7シーズン戦ってきて、本

当に多くの方々のサポートのおかげで毎年毎年、業績もチームの成績も右肩上がりです。東静岡のアリーナが2030年にできる想定で進んでいる中で、それまでのこの4年は本当に勝負だと思っています。この4年でしっかり成長さえできれば、新アリーナでの2030年もスタートダッシュがしっかり切れて、最短で日本一のチームが作れるのではないかと、そこを本気で目指していきたいと思っています。

我々が目指しているのは、日本一のアリーナを、そして日本一のチームを、それを静岡からというところで、スポーツエンターテイメントで日本一ワクワクする街を実現したいという風に思っています。まず目指すべきは静岡2030、プレミアという新しいリーグができて、そのトップリーグに我々が上がるのを2030、新アリーナが完成する年にすべての我々のパワーを注ぎ込んで、静岡が変わる瞬間を皆さんと一緒に見たいと思っています。我々の今の平均入場者数が2600人というところで、会場が静岡市中央体育館、お堀の近くにある中央体育館が今のメインアリーナです。来シーズンからは県立のこのはなアリーナに移ります。このはなアリーナは4000人収容です。売り上げ規模は今期の着地で12億円前後かなというところになっております。

ポリシーとしては3つありまして、まず「BOOSTOGETHER 365」。ぜひ試合会場に観に来ていただきたいんですが、熱狂的な応援が我々の武器です。会場総立ちで全部オレンジに染めて、応援に参加させちゃうんです。応援というのがすごく我々の中では重要視している言葉です。そして「VELTEX 365」。試合が30日しかないので、365日我々と関わることでどれだけ皆さんを幸せにできるかというところを我々

のポリシーにしています。あとは「THINK 静岡」ですね。我々がやりたい世界について来いではなくて、みんなと一緒に考え続けて、それを実現できるようなクラブでありたいというところで、この3つのポリシーを大事にしています。

静岡市から生まれたこのチームが今、静岡県も含めて県内15市町村と連携協定を結ばせていただいております。静岡市生まれのチームが全県に広がっています。ここにもいらっしゃる多くのパートナーの方々のおかげです。本当に多くの方々に感謝しながら、これからも成長していきたいと思っています。

この静岡のベルテックスから、オリンピックの選手や、それこそ世界に挑戦できる日本人選手を育成するというのも夢ではないと思います。しっかりこの4年チャレンジしながら、近い将来、2035年までにはリーグのトップになって日本一のチームを作っていきたいと思っております。ぜひこの静岡で、新たな熱狂で日本一ワクワクする街を実現しましょう。

今日は本当にありがとうございました。

